

① 広報のあがりば



5月号 No. 103

登別町財政事情説明書

登別町昭和42年度各会計予算の執行状況についておし
 知らせします。

私は、昨年4月、町政の負託を受けて以来、住民の意志
 を尊重し住民福祉の充実向上を図るため、道路排水整備、
 教育スポーツの振興、PTAの公費負担軽減、産業振興に
 よる町民経済安定、社会福祉の徹底、各種災害の追放を政
 策として、町政を執行してきたところでありますが、国内
 外経済のきびしい年において、とどこおりなく予算を執行
 当初の施策がそれぞれ実現を見ましたことは、4万3

千町民の強いご支援のたまものと感謝する次第であります。

昭和43年度は、開道百年、登別町開基百年の意義ある
 年であります。先人の築きあげた登別町の今日の基盤を、
 さらに伸展させ、明るく豊かな郷土の建設に、新たなる決
 意と情熱をもって推進したいと存じますので、町民のみな
 さんのご支援とご協力をお願いいたします。

昭和43年5月1日

登別町長 高田 忠雄

昭和42年度各会計予算執行状況

一 般 会 計

43.3.31 現在 (単位 千円)

(1) 歳 入

(2) 歳 出

科 目	予 算 額	収 入 額	率 %
町 税	289,385	294,127	101.6
国有施設等所在市町村助成交付金	66	66	100.0
娯楽施設利用税交付金	200	366	182.5
富時地方特例交付金	670	670	100.0
地 方 交 付 税	171,816	171,816	100.0
分 担 金 及 負 担 金	2,847	2,649	93.0
使用料及手数料	13,384	15,895	118.8
国 庫 支 出 金	112,737	90,894	80.6
道 支 出 金	23,558	20,572	87.3
財 産 収 入	9,822	8,452	86.1
寄 附 金	4,177	3,899	93.3
繰 入 金	5,000	-	-
繰 越 金	43,038	43,038	100.0
諸 収 入	84,471	20,617	24.4
町 債	178,000	21,300	12.0
計	939,171	694,361	73.9

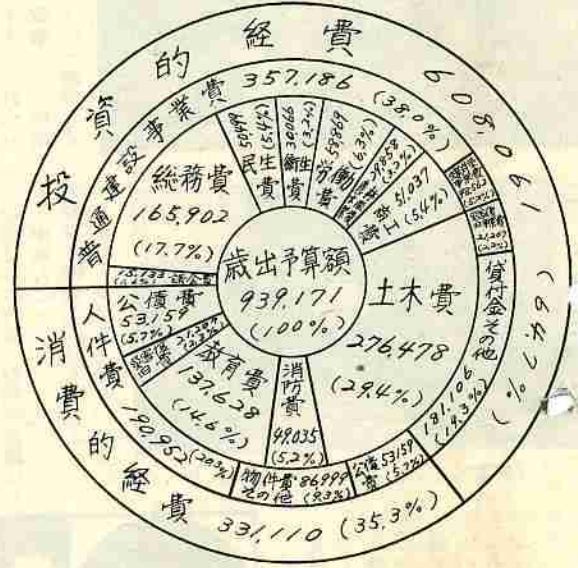
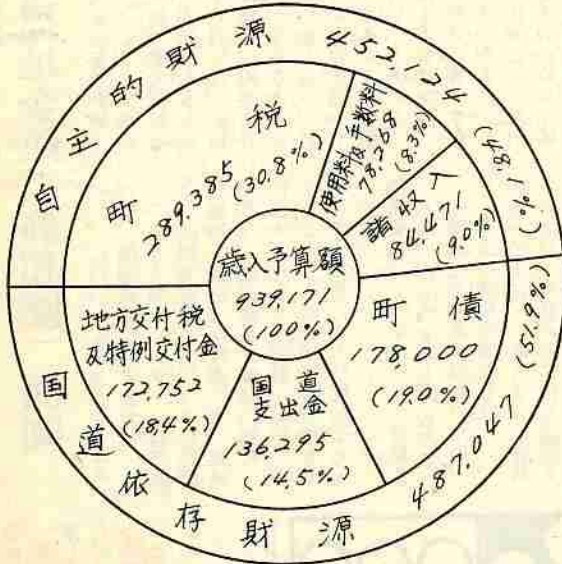
科 目	予 算 額	支 出 額	率 %
議 会 費	15,133	14,657	96.8
総 務 費	165,902	134,554	81.1
民 生 費	50,499	43,161	85.5
衛 生 費	30,066	13,008	43.3
労 働 費	58,869	57,151	97.1
農 林 水 産 業 費	29,858	28,331	94.8
商 工 費	51,037	50,708	99.3
土 木 費	276,478	207,147	74.9
消 防 費	49,035	46,193	94.2
教 育 費	137,628	124,928	90.7
災 害 復 旧 費	21,207	15,772	74.3
公 債 費	53,159	48,272	90.8
予 備 費	300	-	-
計	939,171	785,882	83.5

特 別 会 計

会 計 別	区 分	予 算 額	歳 入		歳 出	
			収 入 済 額	率 %	支 出 済 額	率 %
国民健康保険特別会計		67,296	53,499	79.5	53,887	80.1
清掃事業特別会計		3,182.1	15,997	50.3	27,837	87.5
観光事業特別会計		104,364	52,841	50.6	92,758	88.9
学校給食事業特別会計		51,312	45,414	88.5	44,209	86.2
計		254,793	167,751	65.8	218,691	85.8

昭和42年度一般会計予算

(単位 千円)



町債および町有財産の状況

43.3.31現在 (単位 千円)

区	分	町	債	区	分	町	有	財	産		
総	額	694,636		総	額	1,770,533					
一	人	当	り	16,299	一	人	当	り	41,544		
一	世	帯	当	り	62,204	一	世	帯	当	り	158,550

土木債	248,388 (35.7%)	90,941 (5.1%)	金	員	
教育債	188,207 (27.1%)	573,096 (32.4%)	学校敷地	土	
災害復旧債	57,558 (8.3%)	39,324 (2.2%)	宅	地	
消防債	15,170 (2.2%)	152,757 (8.6%)	その他	地	
その他債	38,993 (5.6%)	419,051 (23.7%)	学	校	建
観光事業債	94,484 (13.6%)	135,432 (7.7%)	公	営	住
清掃事業債	40,236 (5.8%)	359,932 (20.3%)	宅		
給食事業債	11,600 (1.7%)		そ	の	他
			物		

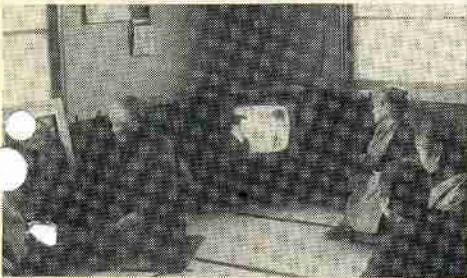
気軽にご利用ください

老人福祉会館「静和園」開園

老人のかたたちが気軽に利用でき、一日楽しくすごせる老人のいこいの家として、町営老人福祉センター「静和園」が開設されました。

この日(四月十六日)は、約百人のおとしりが出席、町長より個々の環境がちがうみなさんが集まって、お互いに話し合い、娯楽を通じて、楽しい毎日を送ってもらうため開設したもので、気軽に

おかけくださいとあいさつがあったあと、民生委員会々長、幌別聖心幼稚園々長さん等、来賓からお祝いのあいさつがあり、これに対し、老人を代表して、及川年己さんより、老人のためりっぱな学園を開設してください、心から感謝いたします。これから、明るい楽しい我家として使用させていただきますと謝辞が



上は開園式 下は楽しくすごす老人たち

使用資格は、◇老人クラブ会員または、六十五才以上のもの

◇地域社会の老人福祉のため、集会に使用希望のもの

申込みの方法 ◇老人クラブ会員の方は、会長から名簿を提出するで使用できる。

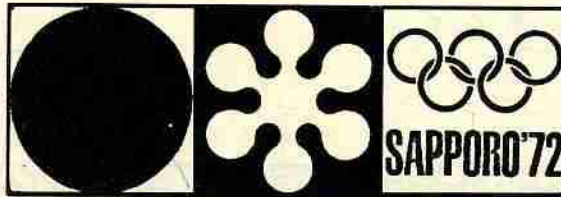
◇会員外の方は、役場住民課に申込むこと。

開園日と時間 四月十六日より、月曜日と祝祭日を除き、毎日九

時から十六時まで開園。使用料 無料

なお、この静和園では、一日を楽しく過ごすほか、教養をたかめるための老人学級の開設、演芸会などの慰安会、敬老会、老人の心配ごとを解決する相談所の開設等、おこないます。

ご希望の方は、気軽に申し出てください。



札幌オリンピックを成功させよう

札幌オリンピック開催の目的はスポーツによって健全な身体と健全な精神を養い、世界の人々が一堂に会し、おたがいの理解と友情を深め、人類の深い愛情に満ちた世界の平和に貢献しようとすることにあります。

この大会を成功させるためには皆さん一人一人のオリンピックに対する理解と、積極的な協力を仰

町村知事ら出席して 幌別ダム完成式

海の見えるダムとして知られている道営幌別ダムの完成式と祝賀会が、四月十七日、幌別ダムと中央公民館でおこなわれました。

この日は、町村知事、三枝副知事、のほか来賓約三百人が出席し、完成式では、工事の完成を祝うとともに玉ぐしをささげ、管内の工業生産に必要な工業用水を円滑に供給できることを願いました。

午後から中央公民館で、完成祝賀会がおこなわれ、町村知事より完成のあいさつがあったあと、道企業局長より、昭和三十六年から

がなければなりません。

この平和の祭典札幌オリンピックを成功させるため標語を、広く募集することになりました。

みなさん多数の応募をおまちしております。

また、このダム周辺は、自然公園としての開発計画が進められ、リクリエーションの場として、近くみなさんに楽しんでいただけることでしょう。

募集要領

作品のねらい 札幌オリンピックを成功させる要因を効果的に表現する。

応募資格 制限なし

応募用紙 官製はがき一枚一点とし、住所、氏名、年令、勤務先または、学校名を明記のこと

締 切 制限なし

日 数 昭和四十三年六月一日(当日消印有効)

送り先 札幌市北一条西四丁目札幌市立オリンピック準備会



税だより

個人町民税は

どのような税金か

町民税は、町民の一人一人が均等に負担する均等割額と、それぞれの所得に応じて負担する所得割額とを合算した税金で、私たちの生活にもっとも身近なものといえます。

昭和四十三年度の個人町民税の才入見込額は、八千五百六十八万五千円、町税の才入見込総額三億二千五百十三万九千円の約二十六パーセントに当たり、町税のなかでは、固定資産税について大きな割合を占めています。

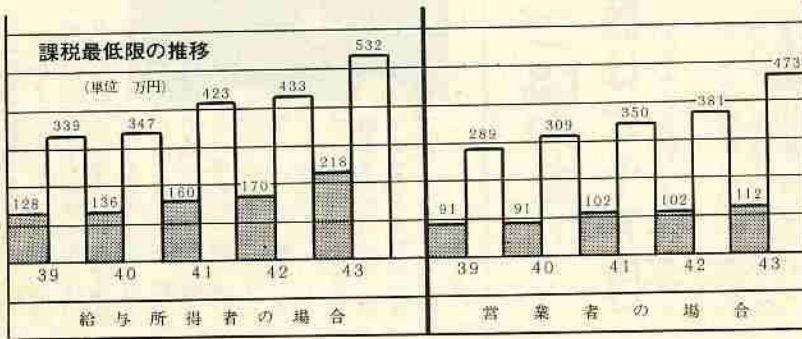
町民税は、給与所得の特別徴収などを除き、原則として申告賦課を建前とし、納税者は、一年間の所得金額を計算して翌年の二月十六日から三月十五日までの間に申告することになっています。

町民税は、配当、事業の各所得等九種類の所得を総合して課税します。(山林所得と退職所得は、他の所得と区分して別に税額を計算)

ところで、町民税は、所得の全額に対してかかるのではなく、所得金額から扶養控除や生命保険料控除などの所得控除をさし引いた残りにかかります。したがって、その人の所得が所得控除額に満たなければ、所得割はかかりません。

つぎのグラフは、最近数年間の所得割額のかからない限度(課税

最低限)を示したものです。税率は、所得から所得控除をさし引いた残り、つまり課税される所得金額に対して、最低二パーセントから最高十四パーセントまでの税率を適用します。この税率は、所得が大きくなればなるほど、大きくなった部分に対する税率が高くなるしくみになっています。



税金を

納めにくいときは

災害や病氣、廃業などの理由で税金を一時に納めることができないうときは、その納めることのできない金額を限度として、納税の猶予を申請し、納付が困難な税金を一年以内の期間だけ猶予を受けることができます。また、特別な事情があれば、さらに一年以内の期間、猶予を受けることができます。この猶予を受けるには、その税金に相当する担保が必要ですが、しかし、猶予の税金が五万円以下の場合や担保を出す事業の継続や生計を維持するのに支障があるなど、特別な事情があれば、不要です。

北海道百年記念祝典の一般参列者募集

来る九月、札幌市でおこなわれる北海道百年記念祝典の一般参列者を次のとおり募集します。ご希望の方は、五月二十八日までに役場住民課、または最寄りの支所に申込みください。

町内募集人員

百二十人(ただし、申込み者多数のときは抽せんにより決定し入場整理券を送付します。)

参列経費 参列者負担となります

祝典実施要領

期日 昭和四十三年九月二日(月曜日)

会場 札幌市円山陸上競技場
参列者 天皇、皇后両陛下の御臨

今月の納税

◎固定資産税

(第一期)

五月十六日より五月三十一日までです。必ず納期限内に納めましょう。

隔離病舎の

廃止について

今まで法定伝染病にかかった場合は、町と室蘭市の隔離病舎に隔離していましたが、四月一日から、町の隔離病舎を廃止しましたので、今後、登別町内で発生する伝染病患者は、室蘭市の隔離病舎に収容することになりました。また、隔離病舎に収容された場合、食費、薬代は、今まで本人負担でしたが、一切、町で負担することになりましたので、お知らせします。

6月13日は 献血の日

時間 13時~16時
場所 富士鉄社宅診療所前

みんなで献血を
しましょう

勲六等単光旭日章を

受ける秋吉さん

去る四月二十九日、春の叙勲が発表され、当町の秋吉勇雄さん



秋吉さんは、大正二年四月消防組の消防手として消防の道にはいり、昭和二十三年消防団副分団長同二十六年登別温泉分団長を経て現在、登別町消防団長。この間五十六年という長い消防生活を送り消防マンとして、この功績は大きなものです。すでに昭和三十三年黄綬褒章を授与され、同年十一月登別町功労章の授与を受けています。

(登別温泉) が多年消防活動に貢献したことから勲六等単光旭日章を受けることになり、五月八日、

秋吉さんは、大正二年四月消防組の消防手として消防の道にはいり、昭和二十三年消防団副分団長同二十六年登別温泉分団長を経て現在、登別町消防団長。この間五十六年という長い消防生活を送り消防マンとして、この功績は大きなものです。

母子栄養食品を支給

町では、四十二年度より母子の栄養を強化するため栄養食品として、牛乳を支給してきましたが、ことしも次に該当する方を対象に、無償で支給しますので、ご希望の方は、役場衛生課に印鑑を持参してお申込みください。

該当者

○生活保護世帯

○市町村民税の非課税世帯および均等割のみの課税世帯に属する妊産婦、乳幼児。

支給期間

妊婦 申請書を受理した日の属する月の翌月初日から支給を開始し、出産した日の属する月の末日まで、

赤十字募金にご協力を

目標額は六十万円

ことしも五月一日より三十一日まで、全国いっせいに赤十字募金運動がはじまりました。

毎年、みなさんのご協力をいただいておこなっているこの運動は災害救護、災害義捐金、辺地の無料巡回診療、血液センター事業など各種福祉事業をおこなうために

町にしていこうという運動です。ことしの登別町の募金目標額は六十万円で、五月一日より、各委員さんを通じて、募金運動にご協力を願うことになりました。

この募金、町の社会福祉活動

みなそろって赤十字社員に

赤十字社は、人類の幸福と平和の理念のもとに、伝統と輝く歴史そして新しい理想にたつて、たゆまぬ前進をしております。

社員とは

社費として年間百円以上を納める方で、各町内会をさん通じて納めていた

社員章の交付

・毎年三百円以上の社費を納め、その合計額が三千円以上になったとき、特別社員として章銀の社員章を交付します。

・毎年一千円以上の社費を納め、その合計額が一万円以上になったとき、金色の社員章を交付します

・社費または、寄附金が五万円になったとき、章銀の有功章、十万円になったとき、金色の有功章をおくりします。

寄附金

一万円以上五万円未満の金品を寄附した方に、社長より感謝状をおくりします。百万円以上の金額を寄附した方に、紺綬褒章の受影手続をします。みなさんのご加入をお待ちしています。

幌別生活学校が表彰

三月二十五日、新生活運動実践優良団体として、幌別生活学校(委員長藤江みどりさん)が胆振支庁長より表彰されました。幌別生活学校は、会員八十名

産婦 出産した日の属する月の翌月初日から三ヶ月間

乳幼児 出生後四ヶ月目の属する月の初日から支給を開始して九ヶ月間

指令車を購入

四月十六日、指令車が消防本部に配置され、入魂式が刈田神社でおこなわれました。



購入した指令車

この指令車は、トヨベッドクラウン二千ccで、百二十万円。内部には無線、タンカーが備え付け、そのほかサイレン、広報設備など必要なものは全部備えており、今後は消防用務に活やくするものと期待されています。

で昭和四十年六月開校以来、家庭における消費経済面の新しい認識と物価の地域格差の調査および、食品衛生管理面の調査研究など生活学校としての活動が高く評価され表彰されたものです。

美 孝

高野定吉(来馬) 一五〇〇〇円 (愛情銀行へ)

- 加 尾 田 登 柳 田 登 柳 尾 田 登 柳
- 丸山まゆ(千子) オノン外三点
- 匿名(幌別) 学用品 二包
- 中山弘一(来馬) 衣類二箱
- 竹内捨一(来馬) 衣類四箱

町の人人々

(四月末現在)

- 男 二一、六九六人(九九増)
- 女 二一、〇七二人(五一増)
- 計 四二、七六八人(二五〇増)
- 世帯数 一一、二八一世帯(一一四増)